

廃炉プロセス 「燃料デブリ取り出し」

検討対象 「作業環境の向上」

課題 「境界線量評価」

ニーズ

1. 敷地境界線量を評価したい

燃料デブリ取り出し：【短期】

望ましい現状とその理由

- 燃料デブリ取り出しに伴い、敷地境界線量が増加することが予想されるため、これを適切に評価し、極力低減できることが望まれる。

理想と現実のギャップ／解決すべき課題

- 燃料デブリ取り出しを含む、廃炉作業の各段階における状況を精緻に想定し、各段階における敷地境界線量（直接線、スカイシャイン、ダストの影響）を評価する必要がある。（敷地境界線量の増加が許容範囲を超える場合は、デブリ取り出し工法の見直しや、追加対策が必要となる。もしくは他の要因への対策：例えば保管廃棄物に対する遮へい等の検討が必要となる）。

（参考）関連する研究課題

実施されている研究課題

- 特になし

検討されている研究課題

- 課題リスト「燃料デブリ取り出し工程における敷地境界線量率評価手法開発」

関連する課題

- デブリ-106「建屋内の汚染状況の把握」
- デブリ-205「閉じ込め機能の構築」
- デブリ-206「ダスト対策」
- 共-2「可視化技術」